

令和5年度

花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

令和5年12月 花巻市

目 次

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会	ページ
1-3 商業の振興	2 商店街の再生	しごと	1
1-4 観光の振興	2 観光情報の発信		2
2-5 福祉の充実	2 高齢者福祉の充実	暮らし	3
2-1 環境の保全	4 循環型社会の構築		4
3-5 芸術文化の振興	4 民俗芸能の伝承	人づくり・ 地域づくり	5
4-2 参画・協働のまちづくり	3 男女共同参画の浸透		7

施策No.1-3-2「商店街の再生」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	施策主管課 (担当部課名)
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切に取り組がなされている。「反映状況」の記述について、いくつかの指摘があった。「新規で5件の創業があった」については、ヒアリング時は具体的な業種が説明されていたが、シートに記述した方が良い。さらに、創業者の出身地域についても可能な限り記述した方が良い。「ワークショップを6回開催した」については、ワークショップで出された提案の一部でも記述した方が良い。総じて、様々な取り組みがなされていることはわかるが、その取り組みから得られた具体的な内容の記述が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を受けて、新規創業店舗等の立地場所や業種をシートに記載するとともに、創業者の出身地の市内・市外の別についても記載いたします。 大迫地域街並み整備検討委員会が策定する街並み整備計画に係るワークショップで出された提案の内容を記載するとともに、様々な取り組みから得られた効果などについても可能な限りシートに記載いたします。 	<p>商工観光部 商工労政課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。「市街地における一日当たりの歩行者数」の実績数の増加要因について、コロナ禍後の動向や、イベント等を挙げているが、この数値は定点観測による数値なので、因果関係が希薄である。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり「市街地における一日当たりの歩行者数」は定点観測による数値であり、その実績値の増加要因はコロナ禍後の動向やイベント等によるものだけではありませんが、全ての増加要因を把握することは困難であるため、コロナ禍後の動向やイベント等も因果関係の一つであると捉え記載したものです。 	<p>商工観光部 商工労政課</p>
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。ただし、「商店街賑わいづくり事業」の成果について、疑問が指摘された。事務事業全体の成果はCであるが、成果指標「中心市街地の新規出店数」（達成度A）を構成するこの事務事業の一部についてもCと評価されている。「新たに取り組む事業はないか」における記述について、旧1市3町の地区ごとの具体的な記述があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「商店街賑わいづくり事業」における2つの成果指標のうち1つ「商店街活性化イベント来街者数」が目標値より低い実績であり、施策評価シートにおいては、1つの事務事業の評価を分けて記載することができないことから、事務事業全体の成果としてはCと評価しました。また、ご指摘を受けて、具体的に取り組むべき内容を、地区ごとに記載いたします。 	<p>商工観光部 商工労政課</p>
<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。「課題」と「今後の方向性」との対応関係も読み取れる記述であった。 		
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 		

施策No.1-4-2「観光情報の発信」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	施策主管課 (担当部課名)
「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 適切に取り組がなされている。 		
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析的に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 達成状況に関する背景・要因分析は、的確に行われている。ただし、成果指標の目標値について施策評価シートと事務事業評価シートの不一致があり、説明を求めた。事務事業評価シートでは成果指標の変更が見られたが、施策評価シートの成果指標についても弾力的に見直しがされても良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策評価の成果指標の設定については中期プラン策定時にその期間内の各年度の目標値を設定しております。また中期プラン策定後においては毎年度ローリング（時点修正等の見直し）を実施しておりコロナ禍のような特殊事情において変更ができるよう対応しておりますが、各施策の成果指標の目標値の妥当性については令和6年度からを計画期間とする第2次花巻市まちづくり総合計画アクションプランの策定において検討いたします。 	総合政策部 秘書政策課
「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。 		
「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。 		
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> ワーケーション、プレジャー、DMO、SEO等の新しい専門用語が用いられているが、説明があるものと説明がないものがあるので、すべての用語について簡単に説明を付加すると、もっとわかりやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、専門用語については、用語の説明や言い換えなどを行い、市民にとってわかりやすくなるよう作成いたします。 	商工観光部 観光課

施策No.2-5-2「高齢者福祉の充実」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	施策主管課 (担当部課名)
「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「反映状況」の中にある認知症高齢者グループホームの整備について、公募がなかった背景の分析として介護人材不足以外の因子も分析し、次の施策につなげ生かせるようにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者グループホーム等を運営している法人を訪問して聞き取りしたところ、公募がなかった要因としては、介護人材の不足が最も大きいと判断しています。 介護人材確保策としては、中・高生を対象に介護の仕事やその魅力を伝える介護のお仕事セミナーの実施、市奨学金の返還補助に加えて、令和5年度より家賃補助制度を創設しており、今後も補助制度の周知を図ってまいります。 	健康福祉部 長寿福祉課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の測定方法について、指標「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」の場合は65歳以上の市民の割合で測定しているのに対し、指標「高齢者に必要な時に必要なサービスを受けていると感じる市民の割合」の場合は年齢区分を設定していない。核家族化が進むなかで、家族内に介護が必要な家族がいない場合が多く、それゆえに「どちらともいえない」「わからない」という回答が多くなってしまったのではなかろうか。測定方法の妥当性について検討が必要と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を受けて、成果指標の設定の見直しが必要と考えますので、第2次花巻市まちづくり総合計画より成果指標の設定を検討いたします。 	健康福祉部 長寿福祉課
「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「施策を構成する事務事業一覧」の「直結度」や「成果」などを踏まえた内容となっている。 		
「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「現状と課題」には「介護サービス費などの抑制を図るために、介護予防の充実や認知症の早期発見、早期治療につなぐためのさらなる体制づくりが必要」との記載がある。施策の総合的な評価にあたっては、介護サービスの提供と共に介護予防の視点に関する評価もあればより良いのではなかろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を受けて、「高齢者福祉の充実」の施策を総合的に評価するにあたり、介護予防の施策に対する評価は重要なポイントであると考えられますので、来年度より、総合的な評価に、介護予防の視点も加えます。 	健康福祉部 長寿福祉課
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> 「4 施策を構成する事務事業の検証」に空欄の部分が合った。「ない」場合には「ない」と記載した方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度からは、空欄とならないよう、「ない」場合には「ない」と記載いたします。 	健康福祉部 長寿福祉課

施策No.2-1-4「循環型社会の構築」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	施策主管課 (担当部課名)
「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「反映状況」においては、前年度評価の振り返りに対応する形で取り組みがなされていることが報告されている。可能であればこれに加え、その取り組みの実施によりどのような結果があったか記載があればなお良いように思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を受けて、巡回、看板・カメラ設置による効果はあったと認識しているものの具体的な成果について反映状況に記載できるか、来年度の評価の際に検討いたします。 	市民生活部 生活環境課
「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 達成度Cとなっている「市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)」については、その実績値がこの数年間ほぼ横ばいとなっている。これは多くはコロナ禍における特別な社会状況、すなわち厳しい社会行動制限による市民の在宅時間の増加とこれに伴う家庭ごみの排出量増加に起因するものと考えられる。家庭ごみ削減の取り組みがその効果をあげることが難しい状況であったことが推察される。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として承ります。 	市民生活部 生活環境課
「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標「市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)」の達成状況について、その大きな阻害要因と考えられたコロナ禍の社会行動制限が緩和されることに伴い、今後はその改善が期待されることである。しかしもし目立った変化が見られないようであれば何らかの対策が必要となる。その時には改めてその背景や要因を分析したうえで、ごみの分別及び再資源化等に関する市民への意識啓発活動の充実を図る追加的な取り組みの検討が必要となろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、今後の市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)の達成状況について、目標に向かって推移しない場合は、改めてその背景や要因を分析したうえで、ごみの分別及び再資源化等に関する市民への意識啓発活動の充実を図る追加的な取り組みについて、検討いたします。 	市民生活部 生活環境課
「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 概ね課題とそれに対応する今後の方向性が示されている。 		
●シート記載内容全般について	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 		

施策No.3-5-4 「民俗芸能の伝承」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	施策主管課 (担当部課名)
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「民俗芸能の出前授業を実施し、小中学生が臨場感のある踊りに直接触れることができた」とあるが、開催数が不十分ではないか。 ・民俗芸能の伝承支援の取り組みにおいて、高校で民俗芸能に取り組む生徒との意見交換会を開催したとあるが、民俗芸能に取り組んでいない生徒からの意見聴取（なぜ取り組まないのか）も必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校には出前授業については校長会議を通じて取り組んでいただくようPRしており、その結果としての開催数です。引き続き小中学校には働きかけをしていきます。 ・民俗芸能専門家も交えて部活動等で民俗芸能に取り組んでいる高校生の率直な意見を聞いて、市として今後の取り組みへのヒントを得たいと思い実施しております。 高校生に限らず、市主催の公演等において、民俗芸能に取り組んでいない来場者の方を含むアンケートを実施しながら、伝承支援の取り組みを進めていきます。 	<p>教育部 文化財課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「団体数の維持につながっている」とあるが、団体数のみならず、その実態についての分析を行うべきである。 ・記載内容が極めて少なく漠然とした記載となっており、不明確である。データ等の根拠を明確に示した分析を行うべきである。 ・達成状況に関する背景・要因について、根拠が不明確な主観的な把握となっている可能性が否定できない（記載が不十分であるため、判断できない）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見の通りと考えますので、活動している団体の把握に努めていきます。 ・データ等の根拠も含めて、記載内容については充実させていくように努めていきます。 ・データ等の根拠も含めて、記載内容については充実させていくように努めていきます。 	<p>教育部 文化財課</p>
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能支援事業について、「支援が必要である」とあるが、国庫補助制度や花巻市文化財保存事業費補助金制度についての説明が的確に行われているのか不明であり、その検証が行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能団体の方々とは公演の機会などを通じて、直接お会いしており、その時に意見交換をしています。 また国庫補助制度については、各団体に文書通知にて制度の紹介を行っていることに加え、申請手続き等の支援を実施しているため、今後は事業内容が伝わるように記載いたします。 	<p>教育部 文化財課</p>

<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後の方向性」の中で、「団体からの相談に乗りながら」とあるが、相談できる仕組みがあること、および、補助制度の仕組みについての周知が十分になされているかが重要である（相談できることが周知されていなければ始まらない）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財所有者、保持団体には定期的に補助制度について郵送により周知を図ってきたところですが、引き続き効果的な周知について努めていくとともに来年度以降のシートに記載いたします。 	<p>教育部 文化財課</p>
<p>●シート記載内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策評価の検証とは直接関連しないが、成果指標が妥当であるのか、検討の余地があるのではないか（達成度がAであるにもかかわらず、深刻な現状がある）。 ・数値およびデータを用いた分析および評価となっておらず、全体的に評価としては不十分であると言わざるを得ない。 ・全体的に記載内容が少ないので、もう少し記載を充実させるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の妥当性については、今後検討いたします。 ・可能な限り、数値およびデータについてはシートに記載しながら評価につなげていくように対応いたします。 ・データ等の根拠も含めて、記載内容については充実させていくように努めていきます。 	<p>教育部 文化財課</p>

施策No.4-2-3 「男女共同参画の浸透」

評価項目	検証・評価結果、指摘事項等	市の考え方	施策主管課 (担当部課名)
<p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check＝評価」⇒「Action＝見直し」が機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「前年度評価時の今後の方向性」に記載された内容について、それぞれどのように対応したかについて明確に記載されている。 ・ただ、講座やセミナー等に「多くの市民が参加できるよう工夫して実施した」とあるが、参加者の属性等の把握が十分でなく（人数のみでは不十分である）、その反映状況が妥当であったのかについての評価ができない（施策の総合的な評価とも関連）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に係る市民への情報発信を行い、理解を深める機会とするため、対面・オンライン方式により講座・セミナー等の企画、運営に取り組んでおります。 参加者の属性等については、受講者アンケートを実施し、年齢や性別、希望する時間帯等を記入いただき、事業を企画する際の参考にしています。セミナー等の内容によって、対象としたい属性の方々が参加しやすい日時や場所、講師の選定、託児の有無など、参加者へ配慮した開催方法について検討いたします。 今後、施策評価シートの「反映状況」欄に、開催に当たり工夫した内容について記載することといたします。 	<p>地域振興部 地域づくり課</p>
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、より細部のデータをふまえた分析を行っていることは評価できるが、抽出調査の結果を用いた分析となっている。その場合、複数年度の結果をふまえるべきであるがそうっておらず、記載されている内容が一般的な傾向であるのかについて判断できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘をいただきました点は必要であると考えますので、来年度の評価より、抽出調査の結果を用いた分析を行う場合は、複数年度の結果を踏まえることを加味して検証いたします。 	<p>地域振興部 地域づくり課</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 達成状況に関する背景・要因について、根拠が不明確な推測・主観的な把握となっている可能性が否定できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標「男女の平等が図られていると感じる市民の割合」は、まちづくり市民アンケートにより毎年度調査しているものです。指標自体が「人の意識を測る」ものであり、そのように考える背景や要因を特定することが難しいものではあるものの、男女共同参画社会の形成を図る上では重要な項目であると判断し、現状のままとしているものです。今後、市民アンケートにおいて、ある程度要因が分析できる設問を追加することを検討いたします。 成果指標「審議会委員に占める女性の割合」については、ご指摘を受けて、来年度から根拠資料を明確にすることを加味して検証いたします。 	
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 的確に行われている。 		
<p>「5 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「前年度の評価の振り返り」の「反映状況」、「成果指標の達成状況」、「施策を構成する事務事業の検証」をふまえ、「施策の目指す姿」の達成につながる分析がなされている。 「課題」に対応した「今後の方向性」が具体的に記載されている。 「課題」の欄 1 行目にある「20%以上」は「20 ポイント以上」とすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおりと考えますので、次回から「ポイント」と記載いたします。 	<p>地域振興部 地域づくり課</p>

<p>●シート記載内容全般について</p>	<p>・施策評価の検証とは直接関連しないが、成果指標が妥当であるのか、検討の余地があるのではないか。</p>	<p>・成果指標は、いずれも第2次花巻市男女共同参画基本計画の成果指標としているものです。来年度より第3次計画期間となることから、現在、男女共同参画審議会等のご意見を伺いながら策定作業を進めていますが、その中で成果指標の検討も行っております。</p> <p>成果指標「男女の平等が図られていると感じる市民の割合」については、上述のとおり指標自体が「人の意識を測る」もので、意識変化の背景や要因を特定することが難しいものではあるものの、男女共同参画社会の形成を図る上では重要な項目であると判断し、現状のままとしていきたいと考えているものです。</p> <p>成果指標「審議会委員に占める女性の割合」については、国の第5次男女共同参画基本計画及び県のいわて男女共同参画プランにおいても、同様の指標を設定しており、市では国及び県の計画に基づき指標及び目標値を設定しているものであることから、現状のままとしていきたいと考えているものです。</p>	<p>地域振興部 地域づくり課</p>
-----------------------	--	---	-------------------------